

臨床研究の実施に関する情報公開

金沢医科大学では、研究倫理審査委員会の承認を得て、下記の臨床研究を実施しています。

患者さん又は患者さんの代理の方が、この研究のために患者さん本人の情報等を使用・提供されることにご了承いただけない場合は、問合せ先までご連絡ください。情報の使用等についてお断りになられても、患者さんに不利益となることはございません。

研究課題名	A case of severe pneumonia caused by Legionella longbeachae with positive results by a Legionella urinary antigen detection kit
研究機関名	金沢医科大学
研究機関の長	学長：宮澤 克人
研究責任者	金沢医科大学呼吸器内科学 四宮祥平
研究実施期間	研究実施許可日 ~ 2023年05月31日
対象者	2022年4月~6月に入院したレジオネラ肺炎の患者
当該研究の意義・目的	レジオネラ尿中抗原キットは基本的にはレジオネラ・ニューモフィラに対応したもので、ニューモフィラ以外のレジオネラ菌に対しては陽性になることはほぼないとされている。レジオネラ・ロングビーチによる肺炎患者において尿中抗原キットが陽性となった稀な症例であり、症例報告として報告する意義があると考えます。
方法および研究で利用する試料・情報について	本研究は、レジオネラ肺炎で入院された患者の培養結果などを収集し、得られたデータからレジオネラ・ニューモフィラ以外のレジオネラ感染症における尿中抗原の有効性を報告します。この研究のために、患者さんに新たな検査や費用が追加されることは一切ありません。上記期間中に得られた培養結果を本研究のために使用させていただきます。研究によって得られた知的財産の所有権は研究組織および研究者に属します。 ・情報：病歴、培養検査結果、血液検査結果、試料：尿、喀痰 ・得られた研究データは、学内規程で定められた研究発表後10年間保管され、その後適切な方法にて破棄されます。 ・この研究ではゲノム情報の取扱いはありません。
外部への資料・情報の提供	外部への提供はありません。
個人情報の開示に係る手続き	個人情報の開示に係る手続きは、下記の問合せ先にご相談ください。
利益相反について	この研究の計画・実施・報告においては、金沢医科大学利益相反マネジメント規程に則って、適正に行われます。また、この臨床研究にご参加いただくことであなたの権利・利益を損ねることはございません。
資料の閲覧について	あなたからのご要望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、この研究の計画や方法についての関連資料をご覧いただくことができますのでお申し出下さい。この研究で得られる結果を実際の治療に結びつけるには、今後さらに研究を進める必要があり、今すぐ、個人の病気の治療などに役立つものではありません。以上のことから、今回の研究では、ご本人に関する解析結果をお知らせする事は想定しておりません。
問合せ先	その他、この研究に関するお問合わせは、下記へご連絡ください。 金沢医科大学呼吸器内科学 四宮祥平 住所：石川県河北郡内灘町大学1-1 ☎：(代表)076-286-2211 内線(3531)

作成日： 2023年3月3日